

アラ かん新生活

ふちんかん

いつの間にかアラかんと呼ばれる年代になったが、この年になって生活をガラリと変えることにした。この連載ではその変容を書き記してみたいと思う。

第4回 自家用車からカーシェアへ

車中心の生活をやめ電動バイクを購入したのが前回までのお話。今回は自動車の売却とカーシェアについて記してみたい。

なお前回の記事中に原付1種の制限速度は時速35kmと記載しましたが、正しくは時速30kmです。訂正いたしますです。

クルマ生活の終焉

第1回で車生活からの脱却理由について記した。通勤を公共機関に変え、日々の生活も電動バイクなどで行い、実際にクルマが無い生活を体験してみた。不便さはあるものの問題は無かった。これによってクルマ生活の終焉を迎える覚悟ができた。

クルマ売却

さて、となるとクルマの売却である。まずはビッグモーターへ赴き、一般的な相場というものを聞く。手放すのが馬鹿らしくなるほど低い評価にがっかり。11年目となる愛車は事故歴もあり、14万キロ近く走っているので、たいした額は期待できないにしてもだ。しかし自分が中古車を探す身になって考えてみればそんなものか、とも思う。いずれにしても今後の維持費を考えると、やはり売却一択である。

今回も[前回のクルマの売却と同様](#)に、業者を呼んで一斉にい査定をしてもらった。事前に、クルマの基本情報と事故歴・車検ごとの交換修理歴などを記したエントリーシートを配布。3月のある日、計8社が査定に集合。結果、一社だけがビッグモーターの見積り額の2倍近い価格をつけたので決定。引き渡し日に現金を受け取り、諸書類を手渡し、あっさりクルマがなくなった。



アラクン 新生活



カーシェア生活

クルマのない生活へ踏み切りが付いた理由に、カーシェアシステムがある。何社かあるが多くが月額1000円程度のサブスクリプションである。その中でもタイムズカーが規模・CPともに抜きん出ている。

月額880円かかるが、使用した880円（1時間分）の料金が割り引かれる。ガソリン代や保険代は料金に含まれるので、レンタカーのように満タン返しの手間もない。車種も豊富で、最低料金（220円/15分）でも、フィットやノート、ソリオなど（右写真）必要十分なサイズのクルマが選べる。



使用の手続きも簡単。ネットで予約しておけば、予約時間に用意されているクルマを専用カードかアプリで解錠し乗車、返却も元の場所に戻して施錠するだけである。使用中止も直前まで可能だし、長めの時間を予約しても使用した時間分だけしか請求されない（15分単位）。実にユーザーの立場に立ったサービスである。

現在、最寄りの2つの駅に、12カ所のステーションがあり、それぞれ車種が決まっているので、目的に応じてステーションを選択している。



ホームセンターやリサイクルショップでの長尺の重い物、ビールなどの重い買い物などで利用している。

また次の走行会からは、運び込み・片付けに利用することになるだろう。

次回は「新生活の理由」をお送りします